

## メキシコ政治情勢（2024年3月）

### 〔概要〕

#### 【内政】

- 1日、6月2日に実施される総選挙の選挙期間が開始され、大統領選挙各候補が公約を発表した。
- 1日付エル・フィナンシエロ紙は、2024年大統領選挙に向けた世論調査結果を発表した。各候補の支持率は、シェインバウム候補（与党連合）50%。ガルベス候補（野党連合）33%（前回32%）、アルバレス候補（市民運動（MC））8%となった。
- 5日付エル・フィナンシエロ紙は、大統領支持率に係る世論調査結果を発表。ロペス・オブラドール大統領の支持率は56%（1月から+2ポイント）。
- 6日付エル・フィナンシエロ紙はメキシコ市長選挙に係る世論調査を発表。支持率はブルガダ氏が44%、タボアダ氏が36%、チェリトリフスキ氏が7%。
- 6日、イグアラ市学生失踪事件で行方不明になった学生等の関係者が、車両で大統領府の出入口を破壊し、建物に侵入した。同大統領は、これらを挑発行為として非難した。
- 17日、メキシコ市長選挙の第一回討論会が実施された。討論会は、主に、ブルガダ候補（与党連合）とタボアダ候補（野党連合）による水問題及び不動産を巡る汚職についての応酬となった。
- 18日、シェインバウム候補は、大統領選挙に勝利した際に実施する「発展のためのエネルギー主権」計画を発表した。

#### 【外交】

- 1日、バルセナ外相は、セントビンセントで実施された第8回CELAC首脳会議に出席した。
- 11日、バルセナ外相は、ジャマイカにおいてカリコム議長国が開催したハイチに関するハイレベル会合に出席した。
- 12～14日、スウェーデン国王が訪墨した。
- 19日、米連邦最高裁は米国への不法入国者を逮捕し強制送還することを可能にするテキサス州法（SB4法）について、バイデン政権による施行差し止め要求を棄却。墨外務省はこれに対し明確に非難を表明した。
- 27日、バルセナ外相は、メキシコ政府が、ミレイ亜大統領がロペス・オブラドール大統領を批判したことで亜外交官を追放するとした報道に遺憾の意を表し、亜外相との相互尊重の関係を再確認した。

### 〔本文〕

#### 【内政】

## 1 選挙期間の開始

1日、本年6月2日に実施される総選挙の選挙期間が開始され、大統領選挙各候補が公約を発表した。シェインバウム候補は、ロペス・オブラドール政権の第四次変革を引き継ぐ選挙公約を発表。同候補の独自色として、再生可能エネルギーが見られる。ガルベス候補は、北米治安協定、巨大刑務所の導入、国家警備隊の増員など治安対策を中心とした公約を発表。アルバレス候補は、若年層をターゲットに据えた公約を発表した。

## 2 大統領選挙に係る世論調査：エル・フィナンシエロ紙

1日、当地エル・フィナンシエロ紙は、2024年大統領選挙に向けた世論調査結果を発表したところ、概要以下のとおり。

(1) 2024年の大統領選挙における候補が以下の人物であった場合誰に投票するか。

ア シェインバウム候補（与党連合（MORENA、PVEM、PT））：50%（前回（1月、以下同じ）48%）

イ ガルベス候補（野党連合（PAN、PRI、PRD））：33%（前回32%）

ウ アルバレス候補（市民運動（MC））：8%（前回10%）

エ 未定：9%（前回10%）

(2) 2024年の大統領選挙における候補が以下の人物であった場合誰に投票するか（地域別）。

ア 北部（バハカリフォルニア州、南バハカリフォルニア州、コアウイラ州、チワワ州、ドゥランゴ州、ヌエボレオン州、サンルイスポトシ州、サカテカス州）

・シェインバウム候補：51%

・ガルベス候補：33%

・アルバレス候補：8%

イ 中西部（アグアスカリエンテス州、コリマ州、グアナファト州、ハリスコ州、ミチョアカン州、ナヤリット州、ケレタロ州）

・シェインバウム候補：42%

・ガルベス候補：38%

・アルバレス候補：9%

ウ 中部（メキシコ市、イダルゴ州、メキシコ州、モレロス州、プエブラ州、トラスカラ州）

・シェインバウム候補：48%

・ガルベス候補：35%

・アルバレス候補：8%

エ 南部（カンペチェ州、チアパス州、グレロ州、オアハカ州、キンタナロー州、タバスコ州、ベラクルス州、ユカタン州）

・シェインバウム候補：58%

・ガルベス候補：29%

・アルバレス候補：4%

(3) 以下の候補者についてどう評価するか

ア シェインバウム候補

・肯定的：51% (前回49%)

・否定的：33% (前回33%)

・分からない：16% (前回18%)

イ ガルベス候補

・肯定的：46% (前回44%)

・否定的：38% (前回37%)

・分からない：16% (前回19%)

(4) 以下のイベントについてどう評価するか。

ア 「民主主義ための行進」(当館注：2月18日に行われた憲法改正案に反対するデモ)

・とても良い又は良い：56%

・悪い又はとても悪い：25%

・良くも悪くもない：15%

・分からない：4%

イ ガルベス候補のローマ法王への謁見

・とても良い又は良い：40%

・悪い又はとても悪い：33%

・良くも悪くもない：20%

・分からない：7%

ウ シェインバウム候補のローマ法王への謁見

・とても良い又は良い：51%

・悪い又はとても悪い：22%

・良くも悪くもない：20%

・分からない：7%

(5) 次期政権における喫緊の課題は何か。

ア 犯罪及び治安悪化：48%

イ 経済及び雇用：33%

ウ 汚職及び透明性：10%

エ 教育及び保健：5%

オ 環境：2%

カ 移民：1%

(6) 本日、連邦下院議会選挙があった場合、どの党に投票するか。

ア 党ごと

- ・ P A N : 2 0 % ( 前 回 1 9 % )
- ・ P R I : 9 % ( 前 回 1 0 % )
- ・ P R D : 2 % ( 前 回 2 % )
- ・ P V E M : 1 % ( 前 回 0 % )
- ・ P T : 2 % ( 前 回 1 % )
- ・ M C : 8 % ( 前 回 1 1 % )
- ・ M O R E N A : 4 3 % ( 前 回 4 0 % )
- ・ 独 立 候 補 : 1 % ( 前 回 2 % )
- ・ 未 定 : 1 4 % ( 前 回 1 5 % )

イ 連 合 ご と

- ・ 野 党 連 合 : 3 1 % ( 前 回 3 1 % )
- ・ 与 党 連 合 : 4 6 % ( 前 回 4 1 % )
- ・ M C : 8 % ( 前 回 1 1 % )
- ・ 未 定 : 1 4 % ( 前 回 1 5 % )

3 大 統 領 支 持 率 等 : エ ル ・ フ ィ ナ ン シ エ ロ 紙 世 論 調 査

5日付エル・フィナンシエロ紙は、大統領支持率に係る世論調査結果を発表したところ、概要以下のとおり。ロペス・オブラドール大統領の支持率は56%（1月から+2ポイント）。

(1) ロペス・オブラドール大統領の取組を支持するか。

ア 支持する：56%（前回（1月、以下同じ）54%）

イ 支持しない：43%（前回46%）

(2) ロペス・オブラドール大統領の取組を支持するか（地域別）。

ア 北部（バハカリフォルニア州、南バハカリフォルニア州、コアウイラ州、チワワ州、ドゥランゴ州、ヌエボレオン州、サンルイスポトシ州、サカテカス州）

・ 支持する：54%

・ 支持しない：46%

イ 中西部（アグアスカリエンテス州、コリマ州、グアナファト州、ハリスコ州、ミチョアカン州、ナヤリット州、ケレタロ州）

・ 支持する：48%

・ 支持しない：51%

ウ 中部（メキシコ市、イダルゴ州、メキシコ州、モレロス州、プエブラ州、トラスカラ州）

・ 支持する：52%

・ 支持しない：48%

エ 南部（カンペチェ州、チアパス州、グレロ州、オアハカ州、キンタナロー州、タバスコ州、ベラクルス州、ユカタン州）

- ・支持する：62%
- ・支持しない：38%

(3) 以下の大統領に期待される特質についてロペス・オブラドール大統領を好評価するか。

- ア 誠実さ：64% (前回 (令和5年12月、以下同じ) 50%)
- イ リーダーシップ：57% (前回47%)
- ウ 結果を出す能力：38% (前回33%)

(4) 各分野におけるロペス・オブラドール政権の取組を如何に評価するか。

ア 経済

- ・とても良い、又は良い：29% (前回 (1月、以下同じ) 27%)
- ・とても悪い、又は悪い：48% (前回52%)

イ 治安対策

- ・とても良い、又は良い：22% (前回18%)
- ・とても悪い、又は悪い：69% (前回71%)

ウ 汚職対策

- ・とても良い、又は良い：40% (前回38%)
- ・とても悪い、又は悪い：42% (前回38%)

エ 社会給付

- ・とても良い、又は良い：55% (前回48%)
- ・とても悪い、又は悪い：29% (前回34%)

(5) 以下の「ロ」大統領の取組は成功か失敗か。

ア 政府事業への軍隊の参加の増加

- ・成功：70%
- ・失敗：26%
- ・分からない：4%

イ マヤ鉄道建設

- ・成功：62%
- ・失敗：35%
- ・分からない：3%

ウ 緊縮財政

- ・成功：61%
- ・失敗：29%
- ・分からない：10%

エ 治安対策「銃弾ではなく、抱擁を」方針 (当館注：犯罪組織と直接対峙しない治安対策)

- ・成功：53%

- ・失敗：42%
- ・分からない：5%

#### オ テスココ市の空港建設中止

- ・成功：33%
- ・失敗：61%
- ・分からない：6%

#### カ 低所得者向け国民保険（Seguro Popular）の廃止

- ・成功：26%
- ・失敗：70%
- ・分からない：4%

### 4 2014年失踪事件の関係者が大統領府に侵入

6日、2014年に起きたイグアラ市学生失踪事件で行方不明になった学生等の親族がロペス・オブラドル大統領との面会を申し込んだことをきっかけに、同事件の関係者が車両で大統領府の出入口を破壊し、建物に侵入した。同大統領は、これらを挑発行為として非難した。

### 5 メキシコ市長選挙候補者による第一回討論会の実施

17日、メキシコ市長選挙の第一回討論会が実施された。討論会は、主に、ブルガダ候補（与党連合）とタボアダ候補（野党連合）による水問題及び不動産を巡る汚職についての応酬が見られた。

### 6 シェインバウム候補によるエネルギー計画の発表

18日、シェインバウム候補は、大統領選挙に勝利した際に実施する「発展のためのエネルギー主権」計画を発表した。同計画では、メキシコが自国の資源によるエネルギー供給を保証すること、外的変化に直面した際の強靱さ、経済におけるエネルギー依存の減少、電気ガス等のエネルギーへのアクセス容易性、汚染物質又は温室効果ガスの削減、薪を利用する農村部への配慮の6つの目標が掲げられた。

## 【外交】

### 1 バルセナ外相の第8回CELAC首脳会議の出席

1日、バルセナ外相は、セントビンセントで実施された第8回CELAC首脳会議に出席した。本会議で、バルセナ外相は、この対話の場の重要性を強調しつつ、不平等、気候変動の影響、暴力、移民といった共通の課題について述べ、それらに対処するために、ラ米カリブ諸国のための持続可能な産業化に焦点を当てた新しい開発モデルの推進を呼びか

けた。また、メキシコは、ラ米カリブ諸国のためのフェミニスト外交政策に関する宣言の採択を主導した。

## 2 バルセナ外相のハイチに関するハイレベル会合への出席

11日、バルセナ外相は、ジャマイカにおいてカリコム議長国が開催したハイチに関するハイレベル会合に出席した。同外相は、ハイチにおける暴力行為を非難するとともに、出席者に向けて国家の利益を第一に考え、危機を克服するための合意に達し、秩序、平和、安全を保証するために必要な措置をとるよう促した。

## 3 スウェーデン国王のメキシコ訪問

12～14日、スウェーデン国王が訪墨した。スウェーデン国王の訪墨は1982年、2002年に続き3度目。ロペス・オブラドール大統領出席の下国立宮殿で歓迎式典、上院での歓迎式典に出席した。

## 4 墨外務省、米テキサス州SB4法の差し止め棄却を非難

19日、米連邦最高裁は米国への不法入国者を逮捕し強制送還することを可能にするテキサス州法（SB4法）について、バイデン政権による施行差し止め要求を棄却。墨外務省はこれに対し明確に非難を表明した。

## 5 バルセナ外相及びモンディーナ亜外相、アルゼンチンとの相互尊重の関係を再確認

27日、バルセナ外相は、ミレイ亜大統領がロペス・オブラドール大統領を無知であると批判したことに対して、メキシコが在墨アルゼンチン外交官を国外追放するとの報道が流れたことに遺憾の意を表し、モンディーナ亜外相とアルゼンチンとは相互尊重の関係にあることを再確認したと述べた。